

横越

第21号

平成28年2月1日
(2016)

コミュニティ協議会ニュース

発行 横越コミュニティ協議会
事務所 江南区横越出張所
新潟市江南区横越中央1丁目1番1号
電話 025-385-2111



新春恒例のさいの神が各地区で行われました（写真は横越上町）

明けまして
おめでとうございませう
会長 本間 一人

暖かい年明けで過ごしやす
正月となりました。皆様には
良い一年のスタートになられた
ことと思います。

昨年漢字は「安」でしたが
安全保障条約が話題になったか
らでしょうか。または十分に国
民に検討の機会を与えなかつた
せいでしょうか。いずれにして
も正月早々北朝鮮が水爆の実験
を行ったり、相変わらず中東諸

新年のご挨拶

江南区長 小野 克幸

あけましておめでとうござい
ます。

昨年四月の区長就任以来、
「チューリップまつり」、「嫁
入り船復活プロジェクト」及び
「よこごし商工大祭」など多く
のイベントに参加しております。
北方文化博物館で行われた「で
んでんまつり」では、横越地域
をはじめとした多くの地域の伝
統芸能を楽しませていただきま
した。

どれも多くの人で賑わい、私
も大いに楽しませていただきま
した。
そんなこともあり、一月三日
の区役所だよりにおいて、木津

国は戦争状態が続いているのは
事実です。国際社会の安全、国
内の安全、地域の安全と地域の
皆様のご多幸を願っています。

横越コミュニティ協議会では、
昨年同様少子化に焦点をあて、
若者支援（婚活）に力を入れて
まいりますのでお気軽に老人福
祉センター「横雲荘」にお立ち
寄り下さい。電話（385-4
321）、手紙でも対応いたし
ます。

明るい地域づくり、活気のある
横越地区となるよう努力して
まいります。皆様の参加、ご意
見をお待ちしています。

地区伝統の棧俵（さんばいし）
神楽と一緒に、新年のご挨拶を
させていただきます。

この地域は、昨年、大手百貨
店のサテライトショップがオー
プンし、小杉地区で新しくお祭
りが始まりました。少子
高齢化が進む中でも新しい魅力
がどんどん増していると思いま
す。

コミュニティ協議会の皆様に
は、夏には中学生と一緒に「横
雲通りピカピカ大作戦」を展開
されて地域の美化に貢献し、秋
には「そば打ち合コン」を開催
され、新しい出会いの機会を設
けるなど活躍いただいています。
区としましても、より良い地
域となるよう、職員一同努めて
いきますので、今年もよろしく
お願いいたします。

協働で課題解決

副会長 佐藤 正明

横越コミュニティ協議会が発足して十年経過しました。これまで皆様のご理解とご協力をいただき様々な事業を行ってまいりました。大変ありがとうございました。

昨年より当協議会で指定管理を行っている老人福祉センター「横雲荘」は、以前と同様に多くの方からご利用をいただいています。ありがとうございます。



横雲荘

県や市も本腰で取り組むと発表した人口減少に向かう少子化・高齢化への対策が求められています。婚活事業や子育て支援、高齢者福祉等多様な事業

を考案してまいりますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いたします。

これからもより一層住民と行政とコミュニティ協議会との協働で地域課題の解決を図らなければなりません。自主防災組織への支援や小中学生との共同作業など取り組める事業は数多くあります。

今後とも皆様からのご意見、ご要望をいただきながら協議会の活動を進めてまいりますのでよろしくお願いたします。



横雲通りピカピカ大作戦

今年も「横バス」をよろしくお願いたします

副会長(横バス協議会長) 田村 唯次

横越コミュニティ協議会の運営、住民バス「横バス」の運行に、地域の皆様から多大なるご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

横バスは、平成二十二年十一月に運行を開始して六年目になります。この間、新潟市の補助金、自治会からの協力を、地域の交通の利便性向上のため、皆様からのご意見やご要望をいただきながら、運行ルート、運行ダイヤやバス停の場所等を考え、利用者のニーズに合わせた運行を目指して運営を行ってまいりました。年々利用者が増加し、地域にとって無くてはならない当たり前の交通手段となりつつあります。

昨年は市の補助をいただき、社会実験として南北ルートの土曜日運行と、阿賀野地区から川根町、砂岡団地を通り亀田駅までの阿賀野ルートの運行を行いました。土曜日運行と阿賀野ルートの運行は三月いっぱい終了しますが、利用者の声もあり何とか阿賀野ルートの運行を継続したいと検討を行っています。

また、十月には中学生の運賃を二百円から百円に見直し大変喜ばれて、多くの中学生から利用してもらっています。



地域を良くするには、皆様のご理解とご協力が何よりも必要です。今年も申年ですが「見ザル」「言わザル」「聞かザル」ではいけません。横越コミュニティ協議会、横バスの運営に前向きな参加をお願いしてご挨拶いたします。

本年もよろしくお願いたします。

新年あけましておめでとーうございます

福祉部会長 中村 実

日頃、皆様から横越コミュニティ協議会の活動にご理解とご協力を頂いておりますことに感謝申し上げます。

さて、昨年七月に健康福祉部会で「おはよう朝ごはん料理講習会」を実施しました。小学生とその保護者十一組の参加をいただき、和気あいあいの雰囲気の中、親子のコミュニケーションが図られたとご好評をいただきました。

今年も引き続き健康増進の一環として、朝ごはんの大切さを親子で健康的な生活習慣を推進していきたいと思っております。計画がまとまりましたらご案内いたします。



内をいたしますので、皆様方からの参加をよろしくお願いいたします。

今年も健康福祉部として明るく豊かな環境のまちづくりに努めていきたいと思っておりますので、ご意見、ご要望を事務局までご一報いただければと思います。

今年もよろしくお願い申し上げます。

「あしがた」がリニューアルしました

郵便ポストの新設

長年地域の方から要望のありました郵便ポストが、木津5丁目のコンビニエンスストアに設置されました。商店の閉店に伴い撤去されたポストを、横越郵便局に設置を要望し、ようやく実現できました。ご不便をおかけしましたがご利用くださいますようお願いいたします。

車椅子の寄贈

郵便局長会から車椅子2台が特別養護老人ホーム「にこやか」に寄贈されました。

いずれも横越コミュニティ協議会を通して行われました。

地域住民の足を考える

まちづくり部会長 長谷部 一裕

横越コミュニティ協議会では、横越地区の交通安全のため、道路危険交差点の信号機設置や国道四十九号横雲バイパスの接触事故を防止するためのゼブラ表示などを、関係機関に働きかけ、交通事故削減に努めてまいりました。

最近では、東町住民の念願であった市道横越藤山線と市道川根谷内小杉線の交差点に、昨年十一月信号機が設置



され、今後交通安全がより一層図られることが期待されます。

さて、一昨年の「世代間交流&横越を考える集い」の中で一番多かった意見が交通についてでした。

横越地区で交通が便利との意見は、「道路網の整備の良さや園児バス、スクールバスの利用」等でした。不便との意見は、「車が無いと困るや、JRの駅が無い、駅が欲しい」等でした。

集いには、高齢になり運転免許証返納を考えている参加者が多数おられました。今後高齢者など交通弱者の移手段の確保が益々重要になるものと思われまます。

そんな中で、便利とされていた園児送迎バス運行が利用園児減少のため、今年三月末で廃止の予定です。小学校のスクールバスも老朽化が進んでおり、今後生徒の登下校をどの様に考えていくのか、これからの住民のニーズにどう対応するのか、今後の課題として取り組んでいく年としたいと考えております。

皆様からのご意見を頂戴し、住みよい、生活しやすい横越を目指し取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

あなまじいねむいふんぱいぶります

教育文化部長 坪谷 さゆり

横越コミュニティ協議会教育文化部の活動に、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

昨年秋に行った中村文明ドキュメンタリー映画「何のために」の上映会に、老若男女の方々から多数の参加いただき、大変ありがとうございました。当たり前ですが、お子様たちは途中少し退屈になり動きまわったりしましたが、観ている大人の方々は優しく見守って下さり、本当にありがとうございました。

新年になってもう一つ事業を予定していますが、ただ今検討中です。案がまとまりましたら皆様にご案内いたしますので、お誘いあわせのうえご参加くださるようお願いいたします。

横越地区の活性化のため、コミュニティの強化のため頑張りたいと思いますので、今年もよろしくお願いたします。



ドキュメンタリー映画「何のために」上映会

横雲荘での事業について

横越コミュニティ協議会では、老人福祉センター「横雲荘」の管理を委託し運営を行っています。また、施設内にまちづくりセンターを設置しています。事業のひとつとして、若者支援を行っています。主に結婚の世話やき活動で、出会いの場を支援するものです。ご本人に限らずご家族の方でも結構ですので、是非ご相談にお越しくださいようお待ちしています。

相談日 毎月第二、第三水曜日
午前九時から正午まで
担当 横越コミュニティ協議会
本間 一人

直接お越しになれない方は、電話385-4321または手紙で（〒950-0208横越中央一―二横雲荘内）本間宛にご連絡をお願いします。



一生そばに寄り添って「そば打ち合コン」

社会福祉協議会・ 会員会費と共同募金

江南区社会福祉協議会
事務局長 吉田 啓一

社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき設置されている地域福祉の推進を目的とした民間の福祉団体で、市民の皆様からの会員会費や共同募金の配分金、寄付金、行政の補助金などを財源に、地域の特色や魅力を活かした福祉のまちづくりを推進するため、各種の福祉事業に取り組んでいます。

会員会費につきましては、一世帯当たり四〇〇円をめどにお願いし、すべて社会福祉協議会が進める地域福祉のための事業・活動やボランティア活動の費用に充てられます。

これら会員会費や共同募金配分金などによる主な事業は次のとおりです。

◆いきいきサロン、地域の茶の間、子育てサロン
自治会館や公民館などに集まり、健康増進、情報交換など地域の皆様の交流の場として楽しまれています。◆地域ふれあい事業
自治会・町内会での夏祭りや防災訓練、清掃活動など子どもからお年寄りまで多世代が参加する行事に助成しています。◆友愛訪問
ボランティア団体や民生児童委員の協力を得て、おおむね七十歳以上の一人暮らしまたは高齢者のみ世帯などの方々に、月一回見守りを兼ねてごみ袋などを配布しています。◆おせち料理の配布
地域のボランティアや民生児童委員の協力により、年末に七十五歳以上の一人暮らしまたは高齢者のみ世帯などの方々にお届けいたします。◆安心袋・緊急情報キット配布事業
七十歳以上の一人暮らしまたは高齢

者のみ世帯などの方々に、緊急時の連絡カードと日常生活用具をセットにしてリュック式のあんしんバッグと緊急情報キットを配布します。◆福祉サービス・リボンの会
助けられたり、助けたり地域の支え合いの心を形にした、住民相互の会員制で支えるサービスです。

このような事業のほか、ボランティアセンターの運営や心配ごと相談所の開設などを行っています。また災害時には、ボランティアとボランティアを必要とする人たちをつなぐ役割を担うため、災害ボランティアセンターを立ち上げますが、これらの運営費にも充てられます。

会員会費や共同募金は、年々減少傾向にあります。地域福祉のための大切な財源であることにご理解いただき、今後ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

さて、昨年三月に策定しました江南区地域福祉活動計画が、二十八年度推進二年度目に当たります。計画の着実な推進を図る目的で、地域の皆様と計画の進捗状況や地域の現状などを話し合い、情報を共有する場として懇談会などの開催を予定しております。開催の際にはご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

